国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

令和５年３月31日
東北地方整備局

全国初（東北では２箇所）、ＭＩＺＢＥステーション登録！
～地域に愛され、より親しみやすい施設を目指して～

本日、河川防災ステーションに地域連携機能を加え、市町村等と連携し地域活性化や賑わいの創出への寄与が期待される施設として、『ＭＩＺＢＥステーション』を登録しました。（全国で１１箇所）

そのうち、東北地方整備局管内では「閖上地区ＭＩＺＢＥステーション（名取川：名取市）」、「二ツ井地区ＭＩＺＢＥステーション（米代川：能代市）」の２箇所を登録しました。

災害時と平時両面の機能を併せ持つＭＩＺＢＥステーションは、地域の賑わいの核となり、更なる地域活性化に寄与することが期待されます。

・ＭＩＺＢＥステーションの制度概要は別紙１をご覧ください。
・閖上地区及び二ツ井地区の概要は別紙２、３をご覧ください。
・本件については、国土交通本省においても本日記者発表をしています。
　http://www.mlit.go.jp/pressrelease.html

・添付資料
　別紙１　ＭＩＺＢＥステーションとは
　別紙２　閖上地区ＭＩＺＢＥステーションの概要
　別紙３　二ツ井地区ＭＩＺＢＥステーションの概要

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会、秋田県政記者会＞

＜問い合わせ先＞
国土交通省　東北地方整備局　河川部　電話：022-225-2171（代表）
河川計画課　課長　川面（かわつら）　顕彦（あきひこ）（内線 3611）

MIZBEステーションとは

別紙1

◆河川防災ステーションの上面などを活用した市町村等の取り組みにより、地域活性化や賑わいの創出が期待される河川防災ステーションを「MIZBEステーション」として登録します。
◆災害時と平時両面の機能を併せ持つMIZBEステーションは、水防関係者や住民などあらゆる関係者に活用されることで「流域治水」推進の起点となり、また地域の賑わいの核として地域活性化を推進します。

≪MIZBEステーションのポイント≫

①滞在のしやすさ

・駐車場やトイレ、テーブル、ベンチ等の休憩施設などの施設が充実


広い駐車場


水防多目的センター

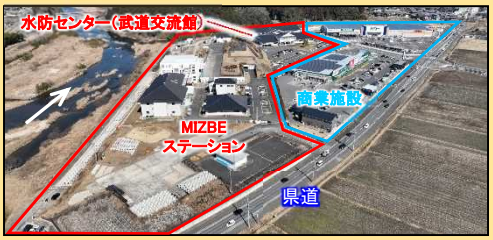

防災啓発コーナー

②地域連携

・地域活性化、賑わいの創出に寄与するレクリエーション施設、地域振興施設、文化・教養施設、民間施設などが水防センターに併設または隣接


運動・教室スペース（エクササイズ）


水防センター（武道交流館）



民間商業施設と隣接

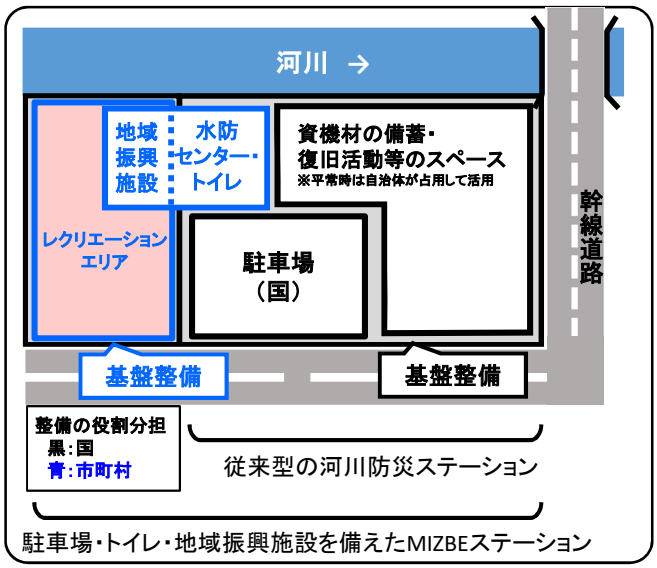
③アクセスのしやすさ

・幹線道路に面するなどアクセスしやすい立地環境









MIZBEステーションの整備イメージ





MIZBEステーションを拠点とした自然体験活動例





MIZBEステーションを拠点とした各種イベント実施例

閖上地区MIZBEステーション

別紙2

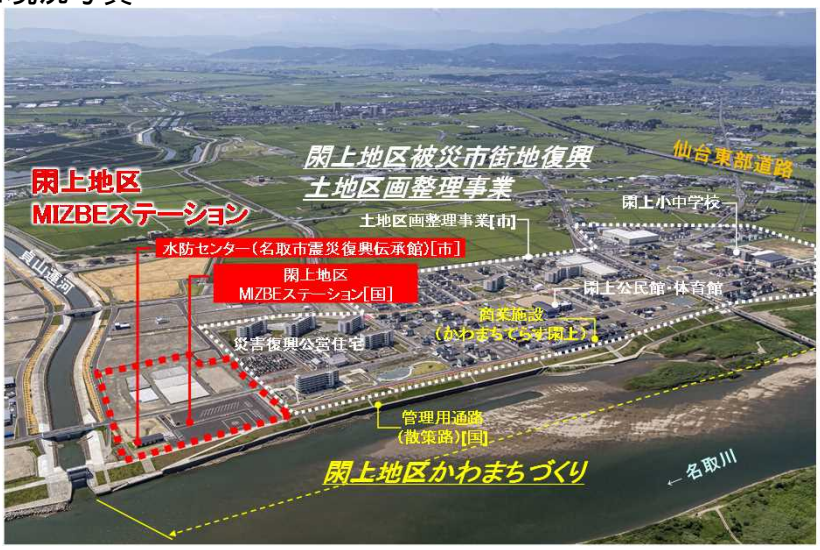
【MIZBEステーションの概要】
災害時は、名取市が整備した水防センター（名取市震災復興伝承館）と一体となり、水防活動や災害復旧活動等の拠点となるが、平時は、かわまちづくり事業等と一体となった水辺空間での賑わいの創出により、地域の活性化に貢献している。
【河川名】　名取川水系名取川
【所在地】　宮城県名取市閖上東1丁目
【連携施設】 名取市震災復興伝承館（水防センター）、かわまちづくり施設
【連携主体】 名取市
【活用事例】
○震災復興伝承館は、”見せる防災施設”として震災伝承の役割や災害学習機能を担う防災教育の拠点として活用。（語り部講話、震災映像上映、防災パネル展示など）
○MIZBEステーション、閖上地区かわまちづくり（水辺空間）を含む周辺一帯を、「都市・地域再生等利用区域」に指定。占用主体である名取市が民間事業者等と使用契約を結び、店舗の営業や各種イベントが開催されている。
【活用頻度・利用者数】
通年（震災復興伝承館は毎週火曜・年末年始は休館）。観光客や中・高校生等の見学・視察（防災学習等）として利用され、年間約4万4千人（令和4年実績）が来館。



■施設概要
（完成年度）令和2年度
（敷地面積）38,000m2

■HP（閖上地区河川防災ステーション）
https://www.city.natori.miyagi.jp/soshiki/seikatsu/syoukou/node_79024

■現況写真





防災関連施設整備状況



閖上地区かわまちづくり

■活用状況の写真


写真① 震災伝承
（語り部による講話）
［名取市震災復興伝承館］


写真② 防災教育
（水圧体感ドア）
［名取市震災復興伝承館］


写真③ 清掃活動拠点
（広瀬川1万人プロジェクト）
［閖上地区河川防災ステーション］

【活用の効果】
隣接区域での土地区画整理事業、かわまちづくり事業（商業施設整備等）と一体的な整備、連携を図ったことで、平時の回遊性が生まれ、地域の新たな賑わいを創出、交流人口の拡大に大きく寄与している。

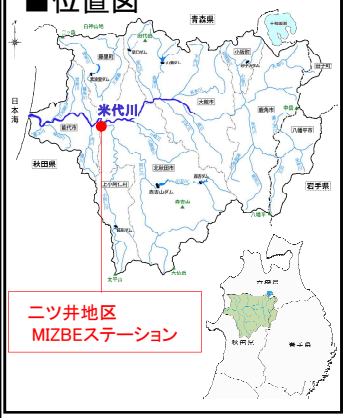
【今後の展開】
地域防災意識の向上を推進するとともに、広域的な地域連携、交流を深め、更なる賑わいの創出、地域全体の振興・発展につながる防災拠点、親水空間となることを期待する。

二ツ井地区MIZBEステーション

別紙3

【MIZBEステーションの概要】
災害時は、能代市が整備した水防センターと一体となり、水防活動や災害復旧活動等の拠点となるが、平時は、「重点道の駅ふたつい」「二ツ井きみまち地区かわまちづくり」と一体となった水辺空間での賑わいの創出により、地域の活性化に貢献している。
【河川名】
米代川水系米代川
【所在地】
秋田県能代市二ツ井町小繋地先
【連携施設】
重点道の駅ふたつい、二ツ井きみまち地区かわまちづくり
【連携主体】
能代市
【活用事例】
・水防センターは重点道の駅ふたついに併設されており、平時はキッズコーナー等で一般開放し活用されている。
・カヌー、ウォーキング、レクリエーション、各種訓練 等
【活用頻度・利用者数】
・道の駅　　約100万人/年間（移転新築から4年で来場者400万人突破）
・カヌー体験　　約1200人/年間（令和3年実績）
・イベント・まつり　約6回/年（令和3年実績）

■位置図



■施設概要
（完成年度）平成30年度
（敷地面積）34,000m2

■HP（道の駅ふたつい）
http://michinoeki-futatsui.jp/

■現況写真







■活用状況の写真



写真①　多目的広場の利活用
（バスケットボールコート）



写真②　水辺の利活用
（カヌー体験）



写真③　散策路の利活用
（ウオーキングイベント）

【活用の効果】
米代川と連続する水辺空間を形成したことにより、新たな地域交流や憩いの場として地域の活性化に寄与している。

【今後の展開】
能代市と災害時の相互応援協定を締結（防災機能を有する重点道の駅「ふたつい」）し、大規模災害発生時には適切な対処を行い、地域住民や道路利用者も含めた広域的な安全確保を推進する。